

はじめに



本市では、地球温暖化防止対策や地域の環境対策をはじめ、ごみの減量化・資源化の推進、緑の保全・創出・育成など本市の環境行政を総合的かつ計画的に推進するため、川崎市環境基本計画を策定し、様々な施策を推進しています。

本年2月には、喫緊の課題である地球温暖化対策に全市をあげて取り組み、持続可能な社会を地球規模で実現するため、「川崎の特徴・強みを活かした環境対策の推進」、「環境技術による国際貢献の推進」、「多様な主体によるCO₂削減の取組推進」を三つの柱とした「カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略（CCかわさき）」を定めました。

地球温暖化は、地球規模の環境問題である一方、私たちの日々の生活や事業活動により引き起こされている問題でもあり、地域での二酸化炭素削減に向けた取組も大変重要です。市はもとより、市民、事業者の省資源、省エネルギーなど二酸化炭素削減のための具体的な行動が求められています。

また、本年3月には「多様な緑が市民をつなぐ地球環境都市かわさき」を基本理念とした「緑の基本計画」の改定を行い、緑地の保全、緑化の推進及び緑の育成等の取組を総合的に進めています。ごみの減量化・資源化に向けた取組としては、生ごみリサイクルやミックスペーパーのモデル収集地域の拡大など分別収集の拡充を行い、また、自動車からの二酸化炭素や大気汚染物質の削減に向けたエコドライブの推進などの取組も進めております。

こうした施策を進める上で、市、市民、事業者の協働、連携した取組が今後ますます必要となりますので、皆様の御協力をお願いいたします。

さて、この環境基本計画年次報告書は、2007年度における市の環境の現状と施策の実施状況を取りまとめたものです。

本書を御覧いただきまして、本市の環境の現状を御理解していただくとともに、本市の環境施策に対する、市民の皆様からの貴重な御意見、御要望をいただければ幸いに存じます。

2008年11月

川崎市長

阿部孝夫